

みなとしみず



国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所

御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所

静岡市清水区日の出町7番2号

TEL. 054-352-4146(代表)

<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

加賀谷 俊和 新所長着任のご挨拶

先般、2月1日付けで、清水港湾事務所長を拝命しました。まだまだ若輩者ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

東日本大震災や南海トラフ地震の例を引用するまでもなく、我が国は、国を揺るがす大規模災害のリスクを抱えています。国土を人の体に例えるならば、東海地域は、体幹にあたる部分です。災害に強い国土にするためには、中小の災害には、びくともせず、大規模な災害にも粘り強く耐える体幹づくりが重要になります。

まずは、安心してこの地域で生産・消費活動ができるよう、関係者の皆様と協力して防災・減災対策に重点的に取り組みたいと考えております。

また、港は、単に物資の輸送のみならず、産業活動の拠点、人や文化の交流拠点としての役割も果たしています。更に、内陸部の物流・生産拠点との効率的な輸送ネットワークの形成、海洋資源や自然再生エネルギーの開発拠点としての活用、国内外のクルーズ需要の高まり等、港をめぐる様々な要請への対応が求められています。

これらの要請に応え、活力に富み、豊かな自然や歴史とも調和した全国にも類を見ない静岡の港づくりに微力ながら貢献して参りたいと考えております。皆様のご指導をよろしくお願いいたします。



加賀谷 俊和 新所長

転任のご挨拶

国土交通省 北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課 港湾企画官 佐々木 純
(前 清水港湾事務所長)

2月1日付け異動により清水港湾事務所長退任となりました。静岡県の港湾に関わる皆様には大変お世話になり、本当にありがとうございました。

平成23年6月に赴任してから1年8ヶ月の勤務を振り返りますと、同年3月に東日本大震災が発生し、24年3月、8月には内閣府より南海トラフの巨大地震の津波高・浸水域等が発表され、防災が喫緊の課題となりました。防波堤の耐津波性能向上や耐震強化岸壁の整備等、出来ることから取り組んで参りましたが、港の強靱化に繋がる港湾業務継続計画など、静岡県はじめ関係者の皆様と更に取組を進める必要があります。また清水港新興津コンテナターミナル第2バースなど経済・社会を支える基盤整備も着実に進捗して参りました。

清水港湾事務所は引き続き加賀谷所長のもと、関係の皆様と連携して安心・元気な国づくり、地域づくりに取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

客船「アマデア」が清水港に寄港しました

平成25年3月23日(土)の早朝に客船「アマデア」が清水港に寄港しました。「アマデア」は全長193m、総トン数28,856トン、乗客定員618名の豪華客船で、かつては「飛鳥」の船名で世界クルーズ等を行っていましたが、平成18年にドイツの船会社に売却され、「アマデア」と改名されました。

寄港後、歓迎セレモニーが催され、その後、歓迎イベントとしてお茶会や地酒の試飲、芸者踊り、次郎長道中の披露があり、乗客の皆様も十分に楽しんでおられるようでした。昼頃には客船「ふじ丸」も入港し、日の出岸壁に客船が2隻並ぶ珍しい光景が見られました。

当日は天候に恵まれ、富士山も見られましたので、美しい清水港を十分に堪能いただけたのではないかと思います。最後は、和太鼓、プラスバンドの演奏が行われる中、午後2時頃に大勢の歓迎客に見送られ、次の寄港地である大阪港に向けて出航しました。



客船「アマデア」の勇姿



和太鼓の演奏と見守る乗客の皆様

新興津ふ頭コンテナターミナルに“ガントリークレーン”がやってきました！！

平成25年3月23日(土)から24日(日)にかけて、新興津ふ頭コンテナターミナル第2岸壁に、“免震構造を備えたガントリークレーン”2基の陸揚げ、据付け作業が行われました。

今回は“世界に1隻しかない”という非常に特殊な「フォーク台船」が使われました。船尾に設けられたフォークで、大型貨物をすくい上げ、運搬、据付けを行う“フォークオン/オフ工法”を行う作業船です。作業は効率的に進められ、無事陸揚げを完了することが出来ました。

第2岸壁が供用開始すれば、第1岸壁と併せて全長700mの連続岸壁となります。これにより5万トン超の大型フルコンテナ船が2隻同時に接岸できる体制が整い、清水港の更なる国際競争力の向上が期待されます。

清水港湾事務所では、今後、岸壁前面の静穏度を高めるため、数年を掛けて新興津防波堤を延伸して参ります。引き続き、港湾整備にご理解・ご協力を下さいますようお願い致します。



大分から3日掛かってようやく入港



設置完了した新ガントリークレーン

海とみなとの相談窓口



PHS OK 全国共通フリーダイヤル

おいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間: 9時30分～12時、13時～17時(土・日、祝祭日は除く)

☆携帯電話・PHSからもご利用できます☆

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

■本紙に関するお問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課

野村・高木 Tel 054-352-4148

ご意見感想をお寄せ下さい。

shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp